

第 6 回向日市総合計画審議会会議 議事要点録

日 時	平成 2 1 年 5 月 2 2 日 (金) 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 2 0 分まで
場 所	向日市役所 3 階 大会議室
出席委員	別添「第 6 回出席者名簿」参照のこと
欠席委員	6 名
傍 聴 者	2 名
内 容	下記のとおり

1 議 事

(1) 新総合計画・基本構想 (第 5 次案) について

「資料 向日市新総合計画・基本構想 (第 5 次案) 」に基づき、事務局から説明があり、その後、意見交換が行われ、基本構想 (第 5 次案) 全体について審議された。

【意見の要旨】

委 員：14 ページ目の中段、「都市構造の目標」について、説明文の末尾が ” 高い都市構造をつくります ” となっているが、二重表現になってはいないか。また、「中心市街地重点整備エリア」について、都市機能の充実も大事だが、特に障害のある人にとっても利用しやすいような「安心・安全」の視点が欠けてはいる。障害のある方へのボランティア活動を行うなかで、「向日市は人は優しいが、道は怖い」という意見をよく聞かされるが、実際に障害のある人が一人で歩ける道が少ない。

事務局：文章表現については再考したい。また、「安心・安全」の視点では、バリアフリーに対応した道路整備も進めており、その辺を記述したいと考える。

委 員：健常者と障害のある人が二人並んで歩けるような歩道がある道路が理想だが、10 年間でできる範囲のなかで検討してもらいたい。

会 長：基本構想は、まちづくりの方向性を示すものなので、具体的な記述よりも「歩行者が安心・安全に行動できる」といった内容の記述の方が良いのではないか。

委 員：14 ページも含めて、全体的に見づらい箇所が見られるので、その辺りのレイアウトについて、事務局で検証してもらいたい。

事務局：現在、お示ししているのは会議用資料であることから、ご指摘のレイア

ウトについては、製本にする段階で十分チェックして、見やすさに配慮して冊子づくりを行いたい。

(2) 新総合計画・前期基本計画(第1次案)について

「資料 向日市新総合計画・前期基本計画(第1次案)」に基づき、事務局から説明があり、その後、意見交換が行われた。

【意見の要旨】

- 委員：計画のなかで、“GIS”や“インキュベーション”などの専門用語が当たり前のように使われているが、行政が日常的に使っている言葉でも、市民にとっては意味が分からない表現もある。言葉の使い方や表現方法については注意が必要である。
- 委員：各基本施策のタイトル名のいくつかについて、主体(主語)がよくわからないものがあり、行政がやるものなのか、市民が中心に行うものなのか判然としない。
- 会長：ただ単に状況を説明したようなものと、施策的に「を行う」という意味合いのものが混在している。
- 委員：全体的には、「市民と行政が協働して、をする」という具合に統一した方がまとめやすいのではないか。
- 委員：基本施策の3番目「地域でいきいきと暮らす」については、タイトルと事業内容が一致していないのではないか。「地域でいきいきと暮らす」という意味は、安心・安全全般に係る総称であり、あえて言えば「生活のネットワークを確保する」もしくは「地域の暮らしを支え、見守る」というタイトル名の方が妥当ではないか。
- 委員：2番目については「安心できる医療がある」、4番目は「高齢者が安心して暮らせる」、15番目「ものづくりが活気づく」、16番目「市街化を計画的に進める」、24番目「歴史を未来に繋げる」の方が良いのではないか。また、29番目に「行財政」としているが、市民から見れば「行政」だけでわかる。
- 副会長：基本政策の1つめ「安心・安全に暮らせる生活環境を創り出す」のなかに、地域で雇用を確保して、この市で働ける環境をつくり出すような取組も必要ではないか。また、基本施策の14番目に、商業の新規創業に対する支援策、あるいは農・商・工の連携といった取組も加えてはどうか。そして、19番目の「交流でにぎわいを創る」のなかに、観光産業に対する支援にも触れておくべきではないだろうか。
- 委員：基本施策の15番目「ものづくりが活力を持つ」の2点目の重点施策・企業立地の推進について、この「企業立地」とは誘致のことか、それとも起業(創業)支援のことか。
- 事務局：ここでは誘致の意味合いで使っている。
- 副会長：工場跡地が宅地になると、大幅に税収(固定資産税等)が減ってしまう。少子高齢化が進むなか、自立した財源を確保するためにも、工場跡地にはできる限り企業を立地させていく取組が必要だ。

委員：基本政策の3つめ「まちの今と未来を担う人を育む」のなかで、助け合う地域コミュニティや人材育成などを掲げているが、これに対応する基本施策が見当たらない。

事務局：ご指摘の部分については、基本施策の26番目「地域の個性が輝く」において位置づけを行っているが、具体的な事業について未整理のものもあるので、第2次案で整理をしたい。

委員：基本構想を受けて基本計画が作られているのだと思うが、各事業担当課からの意向もあると思うが、基本施策体系などについてはもっと整理されても良いのではないか。今後、現在空欄になっている「目標とする将来の姿」を検証していくなかで、より大きな視点から捉えた場合、統一できるテーマが出てくると思われるので、さらに重点プロジェクトを絞ってコンパクトな計画にしていきたい。

委員：この第1次案をざっと俯瞰して見ると、十分に内容について検討されたのかどうか疑問な箇所がある。検討され尽くしてないものを無理に記述しても計画として意味がないので、そういったものはもっと包括的・抽象的な記述に止めるなどをして、あまり実現性のない計画にならないようにした方が良くと思う。

委員：基本施策の15番目「ものづくりが活力を持つ」が一番大変だと思うが、市の考えを聞かせて欲しい。

副市長：個人の税収に依存していた本市の財政構造も、今後、少子高齢社会が進むなかで行き詰まっていく危険性が高く、そのため、企業誘致を含めた地域経済の活性化とキリンビール工場跡地の新市街地整備を合わせた基盤づくりに取り組んでいる。特に、本市は企業の優遇措置制度がなく、これは府下でも本市を含めて3市町しかないが、交通利便性などの立地条件が良いことから、環境整備に全力で取り組めば、先頃、オムロンヘルスケアが2011年頃にキリンビール工場跡地に移転することが発表されたように、地域の経済活性化は十分可能である。

会長：次回は事務局から提案される第2次案について、具体的な事業も含めて議論をして、内容についてほぼ固めたいと思うので、各自の意見などをまとめておいていただきたい。

2 次回審議会の日程調整について

次回は、6月26日（金）午後1時30分から市役所3階大会議室で開催予定。

3 報告事項：向日市新総合計画シンポジウムの開催について

事務局より、現在、中村副会長と市民公募委員を中心に検討を行っているシンポジウムの開催について、『みんなで考えよう これから10年のむこうまち 市民委員 熱く語る』というタイトルで、7月4日（土）の午後2時から市民会館において実施することなどの報告を行った。

【主な意見】

委員：「むこうまち」というタイトルは適切とは思えない。「むこうし」にするべきだと思う。

事務局：タイトルについては、ただいまの意見を踏まえてもう一度再考したい。

以 上

出席者名簿

向日市総合計画審議会

役職	氏名
会長	白幡 洋三郎
副会長	中村 智彦
委員	五十棲 正孝
"	植田 進
"	大塚 正洋
"	北野 節子
"	塩崎 光義
"	島 卓扶
"	節田 典子
"	平山 哲男
"	藤田 晶子
"	矢野 竹子
"	山村 照子
"	渡辺 真理
"	和田 良次

向日市総合計画策定委員会

委員長	和田 副市長
副委員長	五十棲 企画総務部長
委員	安田 市長公室長
"	上田 市民生活部長
"	檜谷 健康福祉部長
"	岸 建設産業部長
"	大島 上下水道部長
"	江口 教育部長
"	岡崎 議会事務局長

事務局

	植田 企画総務部参事兼企画調整課長
	松下 企画調整課課長補佐
	塚本 企画調整課主査
	山田 企画調整課主査